

Chronology of the Lindy Hop in Japan and related world history

日本のリンディホップの大まかな歴史と関連する音楽、ダンス、世界史

Revision 35.10 編さん: TSDS 山田浩之 Hiroyuki Yamada © 2019 All Rights Reserved

はじめに

「汝、平和を欲すれば、戦争を理解せよ」 by Basil Henry Liddell-Hart

米国で生まれたスウィングジャズとリンディホップがどのように日本へ伝わったかを知ることは、音楽とダンスのみならず、日米両国と世界の政治、軍事、戦争、事件、社会、文化など多岐の分野にわたる深く長い歴史を知ることであります。

「米国の原爆使用を決定した政策こそがホロコーストに唯一比例する行為である」 by Radhabinod Pal

1945年の大東亜戦争末期、米国は広島・長崎・東京他で女・妊婦・子供を含む非戦闘員・一般市民を大量虐殺し、占領後は日本において言論の自由を弾圧、大量の焚書と禁書を行い、恐怖統治を敷き、当時の日本の政・軍首脳へのインチキ裁判を通したリンチ殺人を実行し、ソ連共産主義スパイが暗躍した米国製憲法を押し付け、でたらめな謀略放送を流し、新聞ラジオテレビを検閲し、日本人の洗脳を徹底的に行いました。その一方で米国の当時の「軍歌」とも言えるスウィングジャズを大いに奨励しました。スウィングジャズやスウィングダンスは、その大東亜戦争の前後を通して日本に入ってきました。

「占領*が終わらなければ、日本人はこの本*を日本語で読むことはできない」 by Douglas McArthur

* この占領の意味は洗脳。この本とは Helen Mears の Mirror for Americans: Japan (1948)

今でも日本の音楽関係者の中には、「当時のジャズ関係者が日本の軍国主義のために自由な音楽ができなかったが、アメリカが占領してからは好きだけジャズができるようになった」、というような当時の米国のしたたかでする賢い秘密工作に、すっかり洗脳されてまくっているケースが少なくありません。当時、軍事的な弱小国家であれば、英仏蘭露、そして米国といった猛獣のような帝国主義国家が日本以外のアジア諸国を侵略し搾取しまくったように日本もその餌食になっていただろうことは、多くの歴史家や研究者の常識かと思えます。何より米国の軍国主義といえ、日本のそれよりも桁違いの凄さでした。また戦時統制経済は何も日本だけでなく米国においても全く同様で、ガソリンが配給制になったり娯楽税のため廃業や規模の縮小を余儀なくされた米国のジャズバンドは数知れず、です。

残念ながら日本だけでなくアメリカの多くの一般市民も、この情報化社会になった今でも、未だ戦勝国プロパガンダに騙されたままです。しかし戦後、すでに70年以上経ち、機密文書も公開され始め、日米の熱心で事実上誠実な優れた研究者による多くの歴史・軍事・政治的研究成果が一般人にも手に入りやすくなってきたため、何が隠されていて本当は何があったのか、が徐々にわかり始めてきました。どんなに強大な国家権力が必死に隠しても、大規模な悪巧みは70年もすればいずれ露呈するということです。フーバー元米国大統領の回顧録&歴史書が出版されたのは米国においてさえ2011年、戦後から実に66年後です。

スウィングジャズやスウィングダンスの日本への流入の経緯と当時の人々の思いや感情を知りたければ、これまでの世界の弱肉強食の歴史、おびただしい人種差別やおぞましい大量虐殺の歴史などに目を背けては、事の本質が見えてこないと思います。

「戦争に伴う興奮と激情と勝てる者の行き過ぎた増長と敗れた者の過度の卑屈と故意の中傷と誤解に基ずく流言飛語と是等輿論なるものも、いつか冷静さを取り戻し、正常に復する時も来よう。是時始めて神の法廷に於て正義の判決が下されよう。」 by 近衛文麿 第34,38,39代内閣総理大臣

「太平洋での日本の戦争は自衛の戦争だった。日本と戦争したいという狂人、ルーズベルトの欲望の結果だ」 by Herbert Hoover 第31代米国大統領 & Douglas MacArthur マッカーサー将軍

という事で、

「汝、Swingを知りたければ、少しは戦争も理解せよ」 by Hiro、みたいな(笑!)

1492-1890 欧州の白人がアメリカ大陸を侵略、そして後のアメリカ白人が1000-1500万人のアメリカンインディアンを虐殺し95%を死滅させるという、人類史上最悪の大量虐殺を行う

17-19c 米国、拉致誘拐された約1,200万人のアフリカ人を奴隷として劣悪で過酷な農業労働に就かせる

1837 徳川慶喜(江戸幕府最後の将軍)生誕

1852 ジョサイア・コンドル生誕(Josiah Conder、ロンドン)

1853 マシュー・ペリー (黒船) 米国海軍代将が横須賀に来航、軍事恫喝で幕府に開国を迫る

1858 日米修好通商条約締結、不平等条約

1860 徳川幕府の米国使節団 (遣米使節正史は新見正興、副使および咸臨丸の司令官として木村芥舟の他、福澤諭吉、勝海舟、通訳として (中浜) ジョン万次郎も乗船) 、ワシントンDCに滞在中にダンスを目撃

1861 米国、奴隷制度を争点に南北戦争勃発

1865 南北戦争が終結しアメリカは合衆国に。黒人奴隷解放。軍楽隊の楽器が黒人に出まわる

1867 渋沢栄一、幕府の使節としてパリ万国博出展のためパリに滞在中、ダンスを目撃 (旧渋沢本邸：北区飛鳥山公園約28,000平米)

1868 **江戸時代 (慶応) が終わり明治が始まる**

1869 薩摩藩の侍30人で日本初の軍楽隊を編成

1872 品川-横浜 (現在の桜木町) 間で日本初の鉄道が開業

1872-1893 アメリカ (白人) がハワイを侵略、自国の領土化

1872-1911 日本と欧米間の不平等条約の改正に関わる外交交渉期間

1873 小林一三 (いちぞう) 生誕 (宝塚少女歌劇団を含む阪急東宝グループ創設者)

1875 益田太郎冠者、三井物産創始者の益田孝男爵の次男として、コンドル設計の品川御殿山の豪邸に生誕

1876-1964 米国、ジム・クロウ法(Jim Crow Laws)により人種差別を合法化

1877 トーマス・エジソン、レコードを発明、ジョサイア・コンドル来日

1881 J コンドル、川鍋暁斎に弟子入り

1883 **鹿鳴館完成** (J コンドル設計、東京都千代田区内幸町 1-1)

1986 目賀田種太郎男爵の息子、目賀田綱美(つなよし)生誕 (文京区白山5-30-8付近、日本のタンゴの父)

1887 **鹿鳴館時代終了**、日本のダンスの舞台は水交社、帝国ホテル、海浜ホテル (鎌倉) 、グランドホテル (横浜) に移る

1887 Bill "ボージャングル" Robinson生誕

1988 小林一三、福澤諭吉が塾長を務める慶應義塾 (現在の慶應義塾大学) に入る

1899 日本海軍、ロシア帝国の軍事圧力に対抗すべく、軍艦三笠を英国のヴィッカーズに発注し就航

1890 初代帝国ホテル竣工

1890 岩崎弥之助、大番頭の荘田平五郎の助言により、陸軍省から丸の内10万余坪を購入

1894-95 日清戦争、日本が勝利し、李氏朝鮮を清から独立させる

1894 ベッシー・スミス生誕

1897 フレッチャー・ヘンダーソン生誕

1899 デューク・エリントン、アル・カポネ、フレッド・アステア生誕

1901 ルイ・アームストロング生誕

1902 **日英同盟 (軍事同盟) 締結**

1904 ショーティ・ジョージ(George "Shorty" Snowden) 、カウント・ベイシー、グレン・ミラー生誕

1904 軍艦三笠、日露戦争で連合艦隊旗艦を務め、東郷平八郎連合艦隊司令長官が乗船し、勝利する

1905 後の大東亜戦争での米国太平洋艦隊司令長官兼太平洋戦域最高司令官チェスター・ニミッツ、東京湾で開催された日露戦争戦勝祝賀会に招待され、東郷平八郎大将を胴上げし歓談

1905 日本、日露戦争に勝利し欧米列強の仲間入り。米国の仲介で講和条約 (ポーツマス) 締結、これ以後、米国は満州での利権の分け前を求め日本と対峙。さらに人種的偏見から日本への敵視政策に舵

1905 チック・ウェッブ生誕

1906 ハワイ、フィリピン、グアムを侵略し獲得した米国、太平洋で次なる敵は日本と考え、日本との戦争遂行計画、オレンジ計画を立案。大東亜戦争(1941)が始まると概ねこの計画に沿った形で推移した

1907 キャブ・キャロウェイ、服部良一生誕。東京勧業博覧会にて多種多様な新型蓄音機に人気

1907.2 益田太郎冠者、帝国劇場の役員に就任

1908 マーシャル・スターズ、ライオネル・ハンプトン、ルイ・ジョーダン生誕
1908 宋美齡、9歳でアメリカ留学
1909 ベニー・グッドマン生誕。日本橋三越と大阪三越が少年音楽隊を編成、他の百貨店なども続く
1910 日本、韓国を併合
1911 日米通商修好条約の関税自主権に関する不平等条項が撤廃
1911 帝国劇場竣工（益田太郎冠者、渋沢栄一、荘田平五郎、大倉喜八郎など錚々たる日本の重鎮が参画）
1912 **明治が終わり大正が始まる**
1913 徳川慶喜永眠（東京都文京区春日2-8-9）
1914 **フランキー・マニング**、笠置シヅ子生誕。鶴見に花月園が開園(80万平米強)
1914 東京駅開業（辰野金吾設計、東大工学部でJ コンドルに習う）
1914 第1次世界大戦勃発。日本、日英同盟に基づき連合国の一員として中国におけるドイツ帝国に参戦。アメリカではNOLAが軍港化され、歓楽街が全面閉鎖し、失職したミュージシャンがシカゴやNYCへ移動
1915 宝塚少女歌劇、第一回公演
1916 中川三郎生誕。帝劇洋劇部が解散、関係者は浅草オペラへと流れる
1917 エラ・フィッツジェラルド生誕
1917.11 ロシア革命が起きる
1917-23 浅草オペラなど浅草六区が歓楽街の中心地に
1918 第1次世界大戦終結、日本は不景気に
1918 ハーレム・ルネサンスが始まる（1930年代半ばまで続いたというのが通説）
1919 **パリで講和会議開催、国際連盟の誕生。日本、敗戦したドイツの山東省他の権益を引き継ぐ。日本、連盟規約に人種差別撤廃条項の挿入を主張するも、人種差別主義を取る米国が強力に反対**
1919 花月園（鶴見）社長の平岡広高と静子夫妻、欧州旅行でダンスと遭遇
1919.12 ノーマ・ミラー生誕
1920 米国、禁酒法施行。隠れた酒場、スピークイージーが生まれる
1920 目賀田綱美、パリに遊学しタンゴに遭遇。帰国後、日本にタンゴを、持ち込む
1920 ジョサイア・コンドル永眠（護国寺）
1920 平岡静子、**花月園舞踏場を開業、民間ダンスホールの第一号**
1920.1 アル・ミンツ生誕
1921 この頃から東京各地でダンススクールやダンスホールの開業が続く
1921 **米国、ワシントン海軍軍縮会議において日英の分離を狙い日英同盟を破棄させる**
1922 F.ヘンダーソン、ビッグバンドを結成。コールマン・ホーキンスやルイ・アームストロングが加入へ
1923 丸ノ内ビルディング（丸ビル）が竣工、東洋一のビルと言われ、東京行進曲の歌詞にも登場。設計は桜井小太郎（師匠はJ コンドル）。帝国ホテル・ライト館竣工（米国人フランク・ロイド・ライト設計）
1923.9 **関東大震災により死者10万人強**、失職したミュージシャンやダンサーが大阪に大挙して移り、大阪市内だけで20軒以上のダンスホールが開業。まるで1900年前後のNOLAの様な道頓堀ジャズ時代へ
1923 ブロードウェイショー *Runnin' Wild* でチャールストンが踊られる
1923 **Cotton Club がハーレムで開業**
1923 軍艦三笠、除籍
1924 **米国、いわゆる排日移民法により、日米関係最悪化のターニングポイントへ**
1924.6 瀬川昌久生誕
1925 アル・カポネ、26歳でシカゴのギャングのトップに。彼のスピークイージーで黒人ジャズミュージシャンに演奏機会増加。子分がファッツ・ウォーラーを拉致し親分の誕生日パーティでサプライズ演奏
1925 宝塚少女歌劇団、4,000人収容の大劇場を竣工。東京と大阪でラジオ放送開始、楽団需要発生
1926 同潤会アパートのハイカラ都会生活に羨望が集まる
1926.3 **NYC ハーレムにSAVOY BALLROOM 開業**
1926.11 原信夫生誕
1926中-27 チャールストンが大流行
1926.12 **大正が終わり昭和が始まる**。不景気により百貨店系の少年音楽隊は全て解散
1927-40 本格的なダンスホール、日米ダンスホールが京橋(5月)やユニオンダンスホール(12月)が開業、関

東、関西、外地に多数のダンスホールが開業、日本ダンスホール時代を迎えジャズバンドが大いに成長

1927.3 昭和金融恐慌

1927 モガ (モダンガール) 大流行。モボ (モダンボーイ) も

1927 笠置シズ子、宝塚音楽歌劇学校に不合格

1927 服部良一作曲「山寺の和尚さん」発売。コロンビア・ナカノ・リズム・ボーイズによるジャズソング

1927.5 チャールズ・リンドバーグが世界初の大西洋横断無着陸飛行に成功、リンディ・ホップの名の由来

1927.12 大阪、ダンスホール規制条例によりダンスホールの営業禁止。失職したジャズミュージシャンは兵庫県や東京に移動

1927.12 宋美齡、蒋介石の4番目の妻として結婚

1928 浅草六区を中心に最大の盛り上がりみせる

1928 二村定一、ジャズソング (ジャズの名を借りた日本語歌詞曲) の「私の青空 (あほ空)」や「アラビヤの唄」を録音し大ヒット。レコード会社によりジャズバンドが形成、日本のジャズ演奏技術の基礎となる

1928 フランク・フォスター、ドーン・ハンプトン 生誕

1929.5 映画「東京行進曲」公開、映画興行としては失敗したが、同名主題歌が大ヒット。丸ビルなど当時の東京の都市生活の歌詞の中に「ジャズで踊ってリキュルで更けて明けりゃダンサーの涙雨」という一節も

1929.8 平岡静子、ダンスホールフロリダを溜池に開業。日本を代表するダンスホールに

1929.8 秋満義孝生誕

1929.10 ウォール街株価暴落、世界大恐慌

1930.4 氷川丸竣工

1930 リヒャルト・ゾルゲ、上海にてソ連のスパイとして活動し中国共産党を支援

1931 キャブ・キャロウェイの Minnie The Moocher リリース、大ヒット

1931 アル・カポネ、脱税で有罪判決を受け収監

1932 中国共産党、日本に宣戦布告

1933 米国、ソ連を承認し外交を樹立。これを契機に無法国家の成長を促す(ウェデマイヤー)

1933 米国、禁酒法廃止。日劇竣工 (有楽町、現在の有楽町マリオン)

1933 ルイ・アームストロングとベッシー・スミスによるセントルイス・ブルース 録音

1933 フレッド・アステア、ジンジャー・ロジャースと組み、映画「空中レビュー時代(Flying Down to Rio)」に出演。これ以降、スウィングミュージックを使用した多くのダンス映画に出演

1934.1 東京宝塚劇場竣工 (東宝)

1934 Stompin' At The Savoy が作曲される by Edgar Melvin Sampson 他

1934.8 中川三郎、渡米。NYCへ

1934.11 エラ、アポロ・シアターのアマチュア・ナイツで優勝、チック・ウェッブのバンドに入る

1935 エラ、SAVOY BALLROOM に出演開始

1935 川畑文子、月光価千金を録音、ヒット

1935 中川三郎、ブロードウェイショー **Life Begins At 8:40** にソロ出演、成功を収める。APが配信

1935 Cotton Club が閉店

1935末-1936初 フランキー、世界初のエアステップを開発

1936.2 NOLAのジャズトランペッター、ルイ・プリマが Sing, Sing, Sing (With A Swing) を発表

1936 Cotton Club がミッドタウンに移転し再開

1936 中川三郎、米国NYCより帰朝。横浜港で2,000人が熱狂し迎える

1936 映画「舗道の囁き」制作。出演は中川三郎、ベティ・稲田、監督は加賀四郎。配給と上映はなかった

1936 エラの A-Tisket, A-Tasket がミリオンセラーの大ヒット

1936.10-1937.1 宝塚、宇津秀男 (演出家) と酒井協 (音楽監督) を米国に派遣、スウィングジャズやジャズダンスを研究

1937.3 ベニー・楽団、NYCパラマウント劇場で演奏、観客やスウィングダンサーが大挙押し寄せる事態に発展。約3千人が入場でき客席の通路で一部が踊り出した。入場できなかった約2千人が劇場を取り囲み、2万人以上がホテルに用意されたパブリックリスニング場で聴いた

1937 全米でBig Appleブーム

1937.4 宝塚、Sing, Sing, Sing を録音

1937.5 宝塚の宇津秀男、米国帰朝作品「マンハッタン・リズム」を大劇場（5月）と東宝（7月）で公演、Sing Sing Singを歌付き（ソプラノ）で演奏。TruckingやSusie Qなどのジャズステップも？

1937.7 盧溝橋事件勃発。中国共産党の劉少奇が、中国国民党と日本を相戦わせるべく、盧溝橋にて国民党に偽装して日本の支那駐屯歩兵第一連隊を攻撃。これを契機に、国民党と日本との支那事変が勃発。中国共産党は両者の疲弊を待ち、漁夫の利を得る作戦を実行し、事実そのようになった

1937.7 宋美齡、親中派のF.D.ルーズベルト大統領夫妻の取り込み工作に成功。アメリカのYMCAと組み大規模な反日虚偽宣伝工作を行い、中国におけるアメリカの軍事援助（実質的に米国が参戦）を引き出し、中国を舞台に日米戦争に突入

1937.7 ベニー・グッドマン、Sing, Sing, Sing を録音

1937.9 外国映画の輸入禁止

1937.9 ベッシー・スミス、交通事故で近くの病院に搬送されるも白人専用であったため受け入れを拒否され、たらい回しの挙句黒人専用病院に到着したものの、間もなく生き絶え永眠

1937.12 蒋介石軍と日本軍が南京で戦う。日本が勝利し蒋介石は米国の助けで南京を極秘脱出。その際、中国軍は一般市民の建物を大規模に焼き払い難民と化した市民が南京城内に流入したが、残った中国軍がそれらを銃殺。一般市民に紛れ込んだ多くの中国便衣兵に、日本軍は手を焼く。蒋介石と宋美齡、欧米社会に対して、日本が南京で大虐殺を行ったとの捏造プロパガンダの大キャンペーンを行い、ルーズベルトは完全に騙される

1937.12 宮川はるみ、唄へ唄へ(Sing, Sing, Sing) を録音。桐山麗吉作詞、服部良一編曲

1937.12 映画 A Day At The Races 公開、ノーマを含めた Whitey's Lindy Hoppers が出演。リンディのダンスシーンはアカデミー賞振付部門にノミネートされる

1937-38? 宝塚、第二弾として岡田恵吉（演出）を米国に派遣。スウィングジャズとビッグアップルを研究

1938.1 ベニー楽団、クラシックの殿堂カーネギーホールでジャズ史に残りるコンサートを行う

1938.4 国家総動員法、物資統制が始まる

1938.4 松竹楽劇団(SGD)初演。帝劇。益田太郎冠者の息子、増田定信（次郎冠者）による「スキング・アルバム」。紙恭輔（スイートジャズ）服部良一（ホットジャズ）、笠置シズ子、菊池滋弥、宮川はるみ、中川三郎などの日本オールスターズの陣容だった。ダンスナンバーにBig Apple入りか？

1938.5 SGD「踊るリズム」帝劇公演。服部良一、笠置シズ子、中川三郎他。ダンスBig Apple入り？

1938.6 宝塚「ビッグ・アップル」を録音。歌はソプラノの響千鈴、演奏は宝塚管弦楽団

1938.7&9 宝塚の岡田恵吉、米国帰朝作品「ビッグ・アップル」を大劇場（7月）と東宝（9月）で公演

1939.4 映画法施行、外国映画の上映は極力制限された

1939.4-6 宝塚、渋谷秀雄総監督（渋谷栄一の四男、46歳）のもと、40人の生徒を入れ総勢60人で、米国公演のため横浜を出港。宇津秀男、酒井協、津久井裕喜も。SF、LA、NYCなどへ

1939.5.29 宝塚の渋谷秀雄他数名、Broadway show Hellzapoppin' を観劇

1939.6 チック・ウェッブ永眠

1939.7 米国、日米通商航海条約を破棄、日米の全面対決が決定的に

1939.7 SGD「グリーンシャドウ」帝劇公演。劇中で笠置シズ子「ラッパと娘」を熱唱。服部良一作詞作曲編曲。斎藤広義(tp)。L.アームストロングのPublic Melody Number One(1937年米映画 Artists and Models 中でサッチモとMartha Raye(vo) が演奏) に触発されて全てMade in Japanで作ったもの

1939.8&9 宝塚、岡田恵吉作「レッド・ホット・アンド・ブルー」大劇場(8月)、東宝(9月、カタカナ名称を「光と影」に変更)。第15場にビッグアップル、ジッタアバッグ、ペッキング？

1939.9 西部戦線（第二次世界大戦、欧州）勃発

1939 F.ヘンダーソン、自身のバンドを解散、B.グッドマン楽団の編曲をメインで支える

1939 ビリー・ストレイホーン、Take The A Train を作詞作曲

1939.10 & 1940.1 宝塚の東信一帰朝作品「色彩幻想曲」大劇場(10月)、東宝(1月)。第4景にトリックダンス（ジッタアバッグのことか？）。戦前の宝塚のスウィング物の最後の公演となる

1940 鹿鳴館取り壊し

1940 Cotton Club 閉店

1940 欧米以外で初となる東京オリンピックを予定していたが、日本及び世界の情勢が厳しくなり開催返上

1940.10 ダンスホールは全て営業停止。日本ダンスホール時代の終焉

1940.12 米国ルーズベルト政権、各種の厳しい対日経済制裁をもって日本に宣戦布告なき実質的戦争開始

1941.1 米国、日独との戦争準備の一環として、V-Disk(勝利のレコード) 計画を開始。Swing は米国の軍歌そのものになる

1941.3 米、レンドリース法により、約84兆円(2007年換算)の軍需物資を英、ソ連、中華民国に対して供給

1941.7 ルーズベルト大統領、米陸軍に対し世界大戦に向けての軍需生産の国家総動員準備計画「勝利の計画」の作成を命じ、ウェデマイヤー少佐(のちに将軍)が作成責任者に就任

1941.7.23 ルーズベルト、日本本土先制爆撃計画 JB-355 を承認。米国が蒋介石の傭兵として航空機約500機で日本を先制爆撃する計画であったが、航空機の到着が遅れ、結果として真珠湾に先を越された

1941.7-8 米国、日本の在米資産凍結、石油の対日全面禁輸。ABCD包囲網が完了。実質の宣戦布告

1941.9 ルーズベルト、近衛総理の和平提案を拒否

1941.9-10 ゴルゲ事件でゴルゲを含むソ連共産主義のスパイ関係者が多数逮捕される

1941.11 氷川丸、病院船として日本海軍に徴用

1941 エラのTake The A Train のレコードが発売、大ヒット

1941 映画 Hellzapoppin' に Whitey's Lindy Hoppers が出演

1941.10 東條英樹、木戸幸一の昭和天皇への推挙により首相就任。天皇の命により対米和平交渉に尽力

1941.11 米ハル国務長官、ハルノート(執筆はソ連のスパイ、ハリー・ホワイ特米財務次官補)で日本に戦争の最後通牒を突きつけ、開戦を決定づける。日本、和平交渉を断念させられる

1941.12.5 米二紙のスクープにより、米国の対独対日戦争準備計画「勝利の計画」が発覚

1941.12.7 日本軍の攻撃に関する暗号を米海軍が解読。しかしルーズベルトはこれを米国民に隠し、日本に敢えて真珠湾を攻撃させ、ハワイの米兵3,500人を米大統領自らが死に追いやり、米国参戦の口実に

1941.12.8 日本軍、イギリス領マラヤ(シンガポール含むマレー)で対英開戦。その後、ハワイ真珠湾を攻撃、対米開戦、大東亜戦争へ。米英音楽は敵性音楽として完全に追放

1941.12.8 ルーズベルトとチャーチルが電話会談。日本のハワイ真珠湾攻撃を共に喜ぶ

1942 横文字を使用することが禁止させられる

1942? 笠置シズ子、警察当局から舞台上で長い付けまつ毛を取らなければ歌ってはいけないと言われる

1942 ライオネル・ハンブトン楽団、イリノイ・ジャケをソロでフィーチャーしたFlying Home をリリースし、大ヒット。また同楽団のピアニスト、ミルト・バックナーの編曲でコンボの同ナンバーも録音

1942.2-1946 米国、日系米国人12-13万人弱を強制収容所に収監

1943.4 SAVOY BALLROOM 当局により閉鎖させられる。マルコムXが猛抗議し、半年後に再開

1943 フランキー 米国陸軍に従軍、ニューギニアで日本軍と戦い、戦果をあげている

1943 原信夫、大日本帝國海軍軍楽隊に入団

1943.10 学徒出陣の第一弾開始

1943.11 日本、中華民国国民政府、満州国、フィリピン、タイ、インド(自由インド仮政府)が東京で大東亜会議を開催、欧米列強の大東亜の植民地化や搾取からの解放と人種差別撤廃を謳う大東亜共同宣言を採択

1944 瀬川昌久、第二弾の学徒出陣で東大から海軍経理学校に入学

1944.3 宝塚大劇場、閉鎖。海軍に接収

1944.12 グレン・ミラー、イギリス海峡城で消息を絶つ

1944.11 巢鴨にてゴルゲの死刑執行。辞世は「ソビエト赤軍、国際共産主義万歳」

1944.11-1945.8 米軍、東京大空襲で女子供など非戦闘員を含む12万人弱の一般都民を大虐殺

1944.12 米大統領F.D.ルーズベルト、脳卒中で永眠。副大統領のH.S.トルーマンが新大統領に就任、宋美齡の米政府への影響力を排除させる方向へ向かう

1945.2 中川三郎の三女、裕季子生誕(鳥取、疎開先)

1945.2-3 硫黄島で日米が激戦

1945.5 ドイツ国防軍降伏 西部戦線が終結

1945.8 米軍、広島と長崎に核兵器を用い、女性、子供、老人を含む非戦闘一般市民13-25万人を大虐殺

1945.8 大東亜戦争終結 連合国軍(米国)が日本を占領。焚書、禁書、検閲、プレスコード、言論統制、WGIP、手当たり次第の公職追放、裁判と呼ぶに全く値しない実質リンチの極東国際軍事裁判、プロパガンダ放送等で日本人の洗脳(自虐史観の植付)を秘密裏かつ大規模に開始。一方で米国映画上映を支援。ウェデマイヤー中将、中国大陸在留日本人約400万人の帰国に向けて行動を開始

1945.8 特殊慰安施設協会(RAA: Recreation and Amusement Association) 設立
1945.8 焼け残った銀座松屋の地下にGI専用のダンスホール、オアシス・オブ・ギンザ開業。銀座、有楽町、丸ノ内界隈はGI向けのダンスホールが多数開設されGIスウィング時代を迎える。**日本人ジャズメンの給与の出所は日本の税金ゆえ、国策の一環。GHQに接收された建物多数**
1945.9 米軍、NHK東京の一部を接收しWVTR (後のFEN,AFN) を開局、ジャズも流す
1945.9 カナダ外交官でソ連のスパイのエドガートン・ハーバート・ノーマンをGHQが将校として採用、憲法の起草や日本の赤化に尽力。その後MI5やFBIの調査で共産主義スパイと判明、1957年にカイロで自殺
1945秋 フランキー・マニング、進駐軍の兵士として横浜に駐屯。帰国までにUSOに数回参加
1945秋 瀬川昌久、氷川丸に乗船し、ニューギニアとラバウルからの日本兵の帰還事業に従事
1945.10 榎橋渡 (法制局長官、書記官長) がGHQの日本国憲法草案作成コアメンバーとのディナー&ダンスを複数回開催。日本側には白洲次郎外相秘書官、目賀田男爵夫人正子、鳥尾子爵夫人鶴代、他。GHQ側はケーディス大佐、ラウエル中佐、ハッシー中佐、リゾー大尉など。多分、リンディでは無い! (笑)
1945.10 中川三郎が銀座にGHQ/SCAP関係者相手のキャバレー「耕一路」を開業。日本人女性ダンサー約20名を擁したとの記述 (現在の中央区銀座6-6-1付近)
1945 末 中川三郎が二子玉川にGHQ/SCAP関係者相手のダンスホール「セブン・マイル・ハウス(*1)」を開業、リンディホップ、チャールストン、6カウントのジターバグ (ジルバ) が踊られるのを目撃
1945秋以降 横浜でハマジルが流行。主に横浜に駐屯した黒人GIの踊るリンディホップを観た当時の日本人が真似て独自のダンスに変化したと思われる。音楽も異なり4カウントでも踊るためリンディとは別物に
1945.12 GHQ、NHKを手先として使い、日本人の分断と洗脳を目的とした謀略ラジオ番組「真相はかうだ」の放送を開始。その後も「真相箱」「質問箱」と巧妙に形を変えて1948.1まで継続して日本人の歴史観の破壊を続けた。番組に対する多くの真っ当な批判や議論が起きたが、GHQは言論弾圧した
1945.12 瀬川昌久、帰還兵を乗せた氷川丸にて船上ジャズコンサートをプロデュース
1945.12 近衛文麿元首相自決。遺書には「戦争に伴う興奮と激情と勝てる者の行き過ぎた増長と敗れた者の過度の卑屈と故意の中傷と誤解に基づく流言飛語と是等輿論なるものも、いつか冷静さを取り戻し、正常に復する時も来よう。是時始めて神の法廷に於て正義の判決が下されよう。」
1946.2 GHQ、日本国憲法の草案 (マッカーサー草案) を作成し、日本政府を脅して押し付ける
1946.3 中川三郎、セブンマイルハウスにて一般日本人向けにジルバを公開
1946.春 フランキー、米国に帰還し除隊
1947.5 笠置シズ子の夫、吉本頼右 (えいすけ、吉本興業の御曹司) 永眠
1947.9 服部良一、失意の笠置シズ子のため、そして敗戦の悲観に沈む日本人のために、何か明るい曲をということで「東京ブギウギ」を作曲。録音スタジオに大勢のGIや米軍属が押しかけ、録音が終了すると彼らが「東京ブギウギ」を大合唱する事態に
1948.1 「東京ブギウギ」レコードリリース。大ヒットし笠置シズ子は「ブギの女王」と呼ばれる。その後、服部は北海ブギ、博多ブギ、黒田ブギ、買物ブギなど約30曲のブギを作曲、「ブギ時代」を迎える
1948 秋満義孝、18歳 (武蔵野音大ピアノ科学生) が村田速水(tp)に誘われてセブンマイルハウスに出演。ブギウギをたくさん演奏
1948.12.23 米国による世紀のインチキ裁判またはリンチ事件と言える極東国際軍事裁判により死刑判決を受けた東條英機ら7名の死刑が巣鴨拘置所隣の処刑場 (東池袋中央公園、東京都豊島区東池袋3-1-6) で執行
1949 中国における国共内戦に敗れた蒋介石と宋美齡は台湾に逃れ、中国大陸は共産化される
1949.11 Bill "ボージャングル" Robinson 永眠
1950以降 原信夫、在日米軍ヴィラクラブで演奏開始、バンド名をシャープス&フラッツに
1950.6 朝鮮戦争勃発。マッカーサー、これによりソ連の共産主義の本当の脅威を思い知る
1950.9 Herbert "Whitey" White 永眠
1951 暁テル子、「東京シューシャインボーイ」発売しヒット。歌詞に「チョコレート、チューインガムにコココーラ」「ダンスもお得意、英語もペラペラ」など戦後の進駐軍時代の世相
1951 SAVOY BALLROOM 開設25周年記念を祝う
1951.5 マッカーサー、米国上院で「日本が戦争を始めた理由は (米英等連合軍側が対日禁輸政策を取り日本を経済封鎖し追い詰めた結果) 日本の国の安全保障上の脅威となったため」と証言、東京裁判宣誓供述書での東條英機の「あれは侵略戦争ではなく自衛戦争。・ ・国家自衛のために起つという事が国の唯一

の選択肢であった」と同じ見解を示す。またあわせて「米国が太平洋で犯した最大の過ちは中国大陸で共産主義を強大化させた事」とも指摘

- 1951.9 サンフランシスコ講和会議で平和条約を調印（ソ連除く）
- 1952 日本 主権を回復し、GHQ/SCAPの占領が終了。日米安全保障条約締結により在日米軍は残る
- 1952 ジーン・クルーパー、初来日。ライブの他「荒城の月」「証城寺の狸囃子」もレコーディング
- 1952.12 フレッチャーヘンダーソン永眠
- 1953 フランク・フォスター、カウントベイシー楽団に加入
- 1953 氷川丸、帰還兵帰国者約45,000人を運んだ後、シアトル航路に復帰
- 1953.7 朝鮮戦争休戦
- 1953.8 衆議院本会議で全会一致で戦争犯罪による受刑者の赦免が決議される
- 1953.9 瀬川昌久、銀行員として渡米。NYCにてジャズとジャズダンスに触れる。マーシャル・スターンズのジャズダンスのレクチャーを受講（1958の最終帰国までのどの時点であったかは忘却されている）
- 1953.11 ジーン、エラ、ベニー・カーター、ベン・ウェブスター、オスカー・ピーターソン、レイ・ブラウン他、全米ジャズドリームチームのような豪華メンバーでJATPジャパン・ツアーを開催
- 1953.12 ルイ・アームストロング、日本公演
- 1954.4 シンシア・ミルマン生誕
- 1954夏 瀬川昌久、一旦帰国
- 1955 フランク・フォスター、Shiny Stockingsを作曲
- 1955 フランキー、ダンスのキャリアを休止。アメリカ合衆国郵便公社に就職
- 1955.12 Montgomery bus boycott モントゴメリー・バス・ボイコット事件発生。米国公民権運動
- 1956春 瀬川昌久、再度NYCへ。ハーレムの米軍 military armory(練兵場)で開催されたBreakfast Danceに何度か参加。カウントベイシー楽団(*2)やライオネルハンプトン楽団の演奏にも遭遇
- 1957.1 ベニー・グッドマン、初来日公演、小林一三永眠
- 1958 SAVOY BALLROOM 閉店 この頃、リンディの人気はどん底を迎える
- 1958.2 レナート・ヴェスターlund生誕
- 1958.春 ニミッツ（最終階級は米海軍元帥）、「文藝春秋」に「三笠と私」を寄稿、荒れ果てたダンスホールとして使われていた戦艦三笠の復興運動を開始
- 1958秋 瀬川昌久、帰国
- 1960.10 氷川丸、最後の航海を終え、現在は横浜山下公園に係留
- 1961.5 戦艦三笠の復元完成観艦式開催。米国海軍トリー少将が「東郷元帥の大いなる崇敬者にして弟子であるニミッツ」と記載された肖像写真を持参に参加
- 1961 坂本九「上を向いて歩こう」リリース
- 1963.5 カウント・ベイシー、初来日公演
- 1963.6 坂本九「上を向いて歩こう」が「SUKIYAKI」と名を変え、全米ビルボードでシングル1位
- 1963.8 キング牧師、20万人以上参加したワシントン大行進で「I Have a dream」を演説
- 1963 江利チエミ&カウント・ベイシー楽団、東京で共演&録音
- 1964.10 東京オリンピック、アジアで初めての開催
- 1964 デューク・エリントン、初来日公演
- 1964.7 米国、公民権法(Civil Rights Act)制定、人種差別政策が終わる
- 1966 マーシャル・スターンズ永眠
- 1968 マーシャル&ジーン・スターンズ、「Jazz Dance」出版
- 1970 映画M*A*S*H公開、二村定一「私の青空」と暁テル子「東京シューシャインボーイ」が挿入歌される
- 1971 ルイ・アームストロング永眠
- 1974 中川三郎、大岡山にリンディハウスをオープン。リンディホップ由来であるがラテン調の別物？
- 1974.5 デューク・エリントン永眠
- 1974.8 チャールズ・リンドバーグ永眠
- 1975.2 ルイ・ジョーダン永眠
- 1974.11 瀬川昌久、雑誌「ジャズ批評」にハーレムのリンディホップに関する記事を掲載
- 1977 中川三郎、「ダンス元年」出版

1980 映画ブルースブラザーズ公開、キャブ・キャロウェイ、ジェームズ・ブラウン、アレサ・フランクリン、レイ・チャールズ、チャカ・カーン、ジョン・リー・フッカーといった黒人トップアーティストが出演

1982.5 ショーティ・ジョージ永眠

1983 レナート、スターズ著「Jazz Dance」を読み、リンディホップやアル・ミンツなどの存在を知る

1984 レナート他2名がNYCに向かい、アル・ミンツと遭遇、リバイバルが始まる

1984.4 カウント・ベイシー永眠

1985.4 アル・ミンツ永眠

1985 エリン・スティーブンス&スティーブン・ミッチェル、NYCに向かい、フランキーと遭遇。米国内でのリンディのリバイバルの元年

1985 笠置シヅ子永眠。築地本願寺

1986.6 ベニー・グッドマン永眠

1986.秋 エリン、ロンドンでレナートにフランキーの電話番号を伝える。レナートがフランキーに電話

1987.2 レナート、NYCのフランキーの自宅を訪問、フランキーとの交流が始まり、リンディのリバイバルが加速。フランキーがリンディホップ・インストラクターとして世界各地を回り始める

1987 フレッド・アステア永眠

1988 李登輝が台湾総統に就任。以後、宋美齡の影響力はほとんど無くなる

1989 昭和が終わり平成が始まる

1989 フランキー、ブロードウェイミュージカル Black and Blue でトニー賞最優秀振付部門を受賞

1991,93,94 グレンミラーUK レイ・マックヴェイ楽団の日本公演でロンドンのJivin' Lindy Hoppers がリンディホップを踊る。瀬川昌久がその公演プログラム（冊子）でリンディホップを解説

1992 スパイク・リー監督の映画 Malcom X、リンディホップをフィーチャー。フランキーが振り付け。リンディ関係者多数出演

1993 服部良一永眠。築地本願寺和田堀廟所

1994.5 Frankie 80、80歳の誕生イベントがNYCで盛大に開催

1994 キャブ・キャロウェイ永眠

1994.7 映画 The Mask 公開、リンディホップやズートスーツをフィーチャー。バンドはNeo swing band の Royal Crown Revue

1995 インターネットの商用利用制限が撤廃。情報流通が加速

1996 山田浩之 自宅にダンス関連のWebサーバーを日本語と英語の2ヶ国語で立ち上げる

1996 アパレルのGAPが、CMカーキスウィングでリンディをフィーチャー（日本での初放映の年は不明）

1996 ノーマ、Evette Jensen とともに「Swingin' At The Savoy」を出版

1996.4 エラ・フィッツジェラルド永眠

1997 Christian Batchelor、「This Thing Called SWING」出版

1997.12 山田浩之、米国メリーランド州でリンディホップと遭遇（ここからフランキーの招聘までの経緯は、TSDSホームページ(*3)の [日本のLindyhop20周年に寄せて](#) を参照)

1998.2 シン・リム、フランキーをシンガポールに初招聘

1998.3 山田浩之、瀬川昌久らがNYCよりフランキー・マニングを東京に招聘、そしてTSDS設立。シン・リムもシンガポールから駆けつけ、フランキーのティーチング・パートナーを務める

1999.12 ブロードウェイミュージカル Swing! 上演開始。Ryan Francois がリンディホップのパートを振り付け、Jenny Thomasとともにセンターで出演

2000 トニー賞ベストミュージカル部門他にSwing!がノミネートされる

2000 Ken Burns & Geoffrey Ward「Jazz」出版およびDVDセット発売

2000.5 TSDS、フランキー・マニングの86歳の公式バースデーパーティーを駐日米国大使館・アメリカンセンターの正式後援を受けて東京アメリカンクラブで開催。フランキーと中川三郎の最初で最後の遭遇

2001 劇団四季、「ミュージカル異国の丘」を上演、加藤敬二がリンディホップをTSDSの指導によりフィーチャー

2002.8 ライオネル・ハンプトン永眠

2003.10 中川三郎永眠（谷中霊園）

2007 フランキー&シンシア・ミルマン、Frankie Manning: Ambassador of Lindy Hop を出版

2009.4 フランキー・マニング、NYCにて永眠。埋葬墓地はNYC
2009.5 Frankie 95 in NYC、フランキー生誕95周年記念イベントin NYC フランク・フォスターも出演
2011 Freedom Betrayed by Herbert Hoover (Former US President) 出版。フーバー元米大統領
(1874-1964)、日米開戦を起こしたのはルーズベルト元米大統領であると指摘し糾弾
2011.3 東日本大震災により死者2万人弱。津波により福島第一原発がメルtdown。2号機はベントが
出来ず、原子炉の圧力破壊の危険に長時間さらされた。もしこれが起きていたら、首都圏を含む5000万人
の待避が必要となり、実質、日本崩壊の瀬戸際であった。サントリーが、坂本九の「上を向いて歩こう」を
多くの芸能人を起用してCM放映し、失意の日本人を励ます
2011.7 フランク・フォスター永眠
2014 TSDS、リンディホップ専用スタジオ、Studio Necola を文京区白山にオープン
2014.5 Frankie 100 in NYC、フランキー生誕100周年記念イベントin NYC
2016.9 ドーン・ハンプトン永眠
2018.3 TSDS 20周年記念イベントをジュディ・プリチェットやラナ・タナーら米国スウィング界VIPを迎
えて開催
2019.3 TSDS 21周年記念イベントに、リンディ・リバイバルのリジェンド、レナート・ヴェスターランド
や、Frankie 100 の主催者のマンディやシンらを迎えて東京で開催
2019.5.1 平成が終わり令和が始まる
2019.5.5 ノーマ、99歳でフロリダで永眠。埋葬墓地はNYC
2019.5 マンディ・ゴールド、Frankie 生誕 105 周年とレナートらのリンディ発掘 35 周年の意味も込めた
「Swedes In NYC」をレナートらを招き開催
2020.7-8 東京オリンピック開催予定

注釈：

(*1) セブンマイルハウス (1945)：

1930年代、二子玉川の三業地で、水光亭（または二子亭とも？）という約2千坪（約6,600平米）の敷地の料亭があった。しかし1940年頃に戦局の悪化により廃業、軍需工場の労働者の寮になった、との記述がある。1945年秋、中川三郎が関わり、ここの一部がセブンマイルハウスとして、米陸軍第8騎兵隊連隊(8th Cavalry Regiment)を対象に、ジャズバンドの演奏でリンディホップを含むスウィングダンスを踊らせる、キャバレー（ダンスホール）となった。日本人客はオフリミットだが、女給としてここで働いていた日本人女性がダンスに誘われて、比較的覚えやすい6カウントの「ジルバ」を踊ったとの記述がある。演奏したジャズミュージシャンの中には、ピアノの秋満義孝（1948当時は18歳の音大の学生。村田速水(tp)のバンドに誘われて参加）がいる。セブンマイルハウスが何年まで営業したかは不明。その後、売春防止法(1956、施行は翌年)の成立に伴い、遊郭以外の通常ビジネスも含む三業地の制度そのものがなくなり、（水光亭から？）富士観会館と名前を変え長らく存在していたが、現在は27階建タワーマンション（プラウドタワー二子玉川 2005.12完成 東京都世田谷区玉川3-1-18）に建て替えられている。

(*2) Breakfast Dance and Barbecue

Count Basie and His Orchestra featuring Joe Williams のクレジットによる、1959.5 マイアミでのライブ録音のCDが発売されており、その当時の音源に触れる事ができる。

(*3) 日本のリンディホップ20周年に寄せて

<http://www.impetus.ne.jp/tsdsweb/> の該当部分を参照